



「保険でより良い歯科医療を」 愛知連絡会ニュース

「保険でより良い歯科医療を」
愛知連絡会
〒466-8655
名古屋市昭和区妙見町19-2
愛知県保険医会館内
TEL ; (052)832-1349
FAX ; (052)834-3584

愛知県議会で歯科医療の 充実を求める意見書を採択

愛知連絡会は「保険でより良い歯科医療」の実現を求めて運動を続けています。

7月6日に愛知県議会で「歯科医療の充実についての意見書」が採択されました。これは連絡会に参加する愛知県保険医協会歯科部会が、今年1月に民主党愛知県議団に意見書採択を求めて要請を行っていたものです。3月議会では歯科診療報酬改定の時期と重なったこともあって、提案が見送られていましたが、この6月議会で全会派一致で採択されました。

意見書は、提案までに民主党県議との間で文案の検討を何度も行い、保険医協会が要請していた患者の窓口負担の軽減、診療報酬の改善、安全で普及している歯科技術の保険適用、の3点についてがほぼ盛り込まれた内容になりました。

採択された意見書では、「患者の医療費負担が増加し、…歯科医療が受けにくい状況となっている。…患者の窓口負担の軽減を図ることが必要となるが、まずは保険の適用範囲を拡大することで、より質の高い適切な医療を受けやすい環境をつくっていくことが不可欠」としています。また、今回の歯科報酬改定についても「歯周病や義歯についてはいまだ十分な治療を行うことができず、保険の新規適用や拡大についても症例が限定されている…、金属部分床義歯やメタルボン

ドなど一般的に行われている治療への対象拡大が求められている」とし、最後は「実態に即した診療報酬体系の確立や保険適用の拡充を図るなど、歯科医療の充実に積極的に取り組まれるよう強く要望する」と結んでいます。

歯科医療改善の意見書採択は県下で15自治体に

今年の3月議会では安城市議会でも意見書が採択されていました。これで県内では約4分の1にあたる15自治体で意見書が採択されたこととなります。

今までに愛知県のほか、名古屋市、西尾市、大府市、知立市、愛西市、清須市、北名古屋市、安城市、豊山町、大口町、扶桑町、蟹江町、飛島村、阿久比町で意見書が採択されています。

意見書を採択する自治体を増やして、歯科医療改善を実現させていくために、愛知県議会で意見書が採択されたことは大きな意義があります。さらに採択する自治体を増やす運動を進めていく必要があります。

「保険で良い歯科医療」の意見書採択は、全国で1県議会、496市町村議会に

「保険で良い歯科医療の実現を求める」意見書採択数は、11月1日現在、愛知県議会や三重県議会など11県議会と、34都道府県の496市町村議会（28.7%）となっています。

歯科医療の充実についての意見書
歯や口腔の機能を維持することは、全身の健康や生活の質の向上に寄与するとともに、医療費の抑制にも役立つことが、80歳で20年以上自分の歯を保つことを目標とした「8020運動」等によっても実証されている。
しかしながら、医療保険支出抑制の流れの中で、患者の医療費負担が増加し、平成19年の国民生活基礎調査によると、歯科疾患の自覚症状があるにもかかわらず、治療を控えている人が全体の約3割を占めており、歯科診療が受けにくい状況となっている。
この状況を改善するためには、患者の窓口負担の軽減を図ることが必要となるが、まずは、保険の適用範囲を拡大することで、患者がより質の高い適切な治療を受けやすい環境をつくっていくことが不可欠である。
こうした中、平成22年度の改正により、歯科の診療報酬の引き上げや対象範囲の拡大がなされたが、例えば、歯周病や義歯については、いまだ保険の適用範囲では十分な検査や治療を行うことができず、保険の新規適用や対象拡大についても、症例が限定されているため、歯周病を発見・治療するための検査機会の増加や、金属部分床義歯やメタルボンドなど一般的に行われている治療への対象拡大が求められている。
よって、国におかれては、歯科医療における施行頻度や適正な技術評価等に基づき、実態に即した診療報酬体系の確立や保険適用の拡充を図るなど、歯科医療の充実に積極的に取り組まれるよう強く要望する。
以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
平成22年7月6日
愛知県議会議長 日高 昇

愛知県議会で採択された意見書。私たちの要望である窓口負担金の軽減、歯科技術の保険導入も盛り込まれている。

「保険で良い歯科医療を」 全国連絡会が総会を開催

「保険で良い歯科医療を」全国連絡会の第11回総会が、10月30日(土)午後3時から、東京・新宿農協会館で開催されました。台風が近づく悪天候の中、各地の連絡会を含め17都道府県から歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士、市民ら59人が参加。愛知連絡会からは大藪会長、江原副会長、事務局2名が参加しました。



総会では、大藪全国連絡会世話人の司会で始まり、宇佐美宏副会長の挨拶の後、江原副会長が、歯科医療をめぐる情勢の特徴と前回総会(08年11月)後の主な取り組み、今後の運動方針案を提案しました。

活動報告・討議では、「歯科医療をより良くするため、市民と問題点を共有し運動を進めていくことが大切」(千葉)、「毎年行っている浅草の街頭宣伝は、ちんどん屋さん和賑やかに

行う予定」(東京)との報告の他、愛知、長野、兵庫、大阪の連絡会から電話相談、街頭宣伝、市民講演会、署名活動、自治体への請願や国会議員要請などの活動が紹介されました。宮城からは「連絡会結成に向けて、市民フォーラムを開催し、世帯加入率が6割以上の生協と共催レイイハデーの集いを企画するなど、信頼関係を深めていきたい」との発言もありました。

新役員体制では、従来の3人の副会長が代表世話人となり、この間に結成された各連絡会からも世話人を選出してもらうよう要請がありました。

イレバデー (10/8) からイイハデー (11/8) 特別月間の取り組み

11/7 愛知母親大会で分科会

第56回愛知母親大会が11月7日(日)に半田市雁宿ホール等で開催されました。「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会では、乳幼児期の歯の健康を取り



上げた分科会を企画し参加しました。講師・助言者は、大藪憲治愛知連絡会会長と南医療生協の中村真弓・山本真也両歯科衛生士が担当し、乳幼児とその親など約30人が参加しました。

分科会は午前10時すぎから始まり、歯に関係した歌に合わせたリズム遊びや紙芝居などで緊張をほぐしながら進められました。おやつタイムでは、大藪先生からおやつや飲料水などの与え方と歯への影響、唾液の作用などについて説明し、その後、歯科衛生士から幼児の寝かせ磨きの方法と留意点などについて、歯ブラシを実際に使いながらアドバイスがされました。

参加者からは、「親の仕

上げ磨きはいつまで必要なのか」「フッ素塗布は行ったほうがよいのか」「キシリトールのガムの効用と費用はどのくらいか」「子どものヨダレがほとんどでないが、どうしたらよいか」「永久歯が生えないということを知ることがどういうことか」などの質問が出されました。

大藪先生からは、唾液はよく嘔むことで出やすくなるが、あまり神経質にならなくてもよいとのアドバイスもありました。そして、「健康な永久歯がきちんと生えてくるためにも、乳幼児の時期から食生活や歯の手入れが必要」とまとめ、終了しました。

10/7 「歯の何でも電話相談」を実施

連絡会では、10月7日(木)に、イレバデー(10/8)プレ企画として「歯の何でも電話相談」を行いました。

対応した歯科医師は6人で、市民などから12件の相談がありました。

歯みがきを嫌がる子どもへの対応は？

「1歳のこどもが歯みがきを嫌がる。どうしたらよいか」の質問には「親と一緒に自分の歯みがきをお手本に見せるとよいでしょう。自分の歯に興味を持たせて、歯ブラシに抵抗感を無くすることが大切です」と回答しました。

前歯がグラグラする

「ときどき前歯がグラグラする。抜けてしまわないか心配。原因は？」との質問には、「年齢を考えると歯周病によるものだと思います。ストレスなどが高まると、無意識に

いしぼりが起こり、動揺が強くなることもあります。かかりつけの歯医者さんに相談してみてください」と回答しました。

インプラントは無理？

「硬いものが食べにくくなった。インプラントにしたいと思っているが、レントゲンも撮らずに無理と言われた」との質問に、「インプラントができるかどうかは、顎の骨の量によって決まります。口の中をみただけで無理と言われたならかなり骨がなくなっていると思われます。入れ歯の上手な先生に作ってもらいたいですね」と回答しました。



電話で相談を受ける歯科医師。

イレバデー (10/8) からイイハデー (11/8) 特別月間の取り組み



「歯科医療に関する市民アンケート」まもなく締め切ります

全国保険医団体連合会では、イレバデーからイイハデーまでを歯科のアピール月間として、全国各地での活動を提起しています。

その取り組みの一つとして、街頭宣伝や健康相談、講演会などを行う中で、患者・国民と対話しながら歯科医療についての意見を聞くため「歯科医療に関する市民アンケート」を実施しています。

アンケートはハガキ形式(B5判)で、歯科での保険のきかない

治療についての考えや、歯科の保険の窓口負担が高いか安いなどについて、短時間で簡単に回答できるような内容となっています。

アンケートの締切は11月末で、12月中に結果をまとめて、今後の歯科医療改善に生かすためにマスコミ発表や国会議員等への働きかけを予定しています。

お手元にまだアンケートが残っている場合は、記入をしていただき、そのままポストにご投函ください。

歯科医療に関する市民アンケート

私たち全国保険医団体連合会は、全国の医師・歯科医師10万3千人の団体です。このたび、私たちは、歯科医療について、市民のみなさんのご意見を広く伺いするために、下記のとおりアンケートを実施いたします。ご協力よろしくお願いいたします。

- 都道府県名()
- 性別 男性 女性
 - 年齢区分 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代 90代～
 - 現在、歯科医院に通院していますか 通院している 通院していない
 - 歯は全身の健康にとって とても大切だと思う 少し大切だと思う あまり関係ないと思う
 - 歯の治療には保険のきかない治療がありますが、どう思いますか 今のままでよい 保険のきく範囲を広げて欲しい
 - 歯科の保険の窓口負担は 高い 適当 安い
 - 治療をせずそのまま放置しているところがありますか ある ない
 - 治療しない理由 時間がない 治療が苦手 費用が心配 その他()

締め切は11月末